

# 冷暖切換ユニット(個別・集合タイプ)

## 個別タイプと集合タイプの2種類をラインアップ 空調設備の設計自由度を向上

### 接続対応室外ユニット

- フレックスマルチ[冷暖同時型]SGX・SSXシリーズ
- フレックスマルチ[リニューアル型 冷暖同時型]SGRXシリーズ



個別タイプ  
CH-AP160SSX



集合タイプ(4分岐)  
CH-AP04MSSX

### 設計自由度 豊富なラインアップ

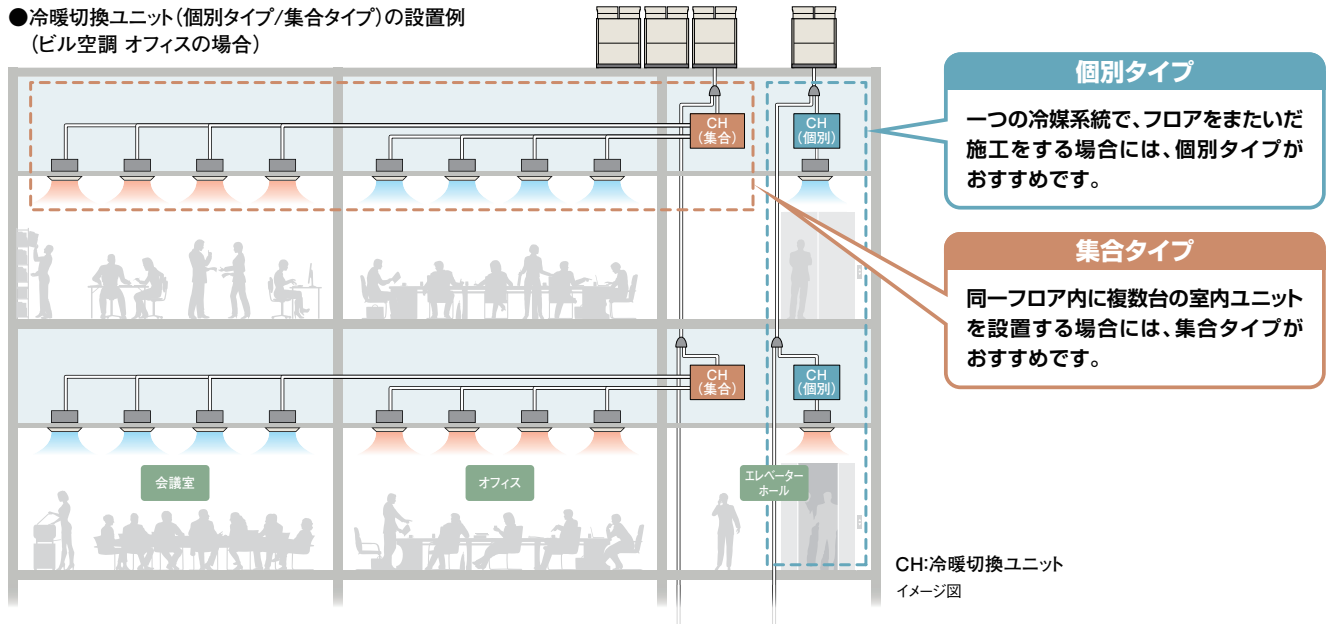
設置場所や施工条件、用途などに応じて、個別タイプと集合タイプからお選びいただくことができ、設計自由度が高まりました。

#### ●ラインアップ

タイプ	個別タイプ		集合タイプ				
	型式	CH-AP160SSX	CH-AP280SSX	CH-AP04MSSX	CH-AP08MSSX	CH-AP12MSSX	CH-AP16MSSX
分岐数		1分岐	1分岐	4分岐	8分岐	12分岐	16分岐
1分岐あたりの室内ユニット最大接続台数		7台	8台	6台	6台	6台	6台

(注) 冷暖切換ユニット(集合タイプ)に224・280型の室内ユニットを接続する場合には、最大2台まで接続可能です。(1分岐あたりは1台のみ接続可能です。)  
ただし、CH-AP04MSSX(4分岐)に280型の室内ユニットを接続する場合には、1台までの接続とさせていただきます。

#### ●冷暖切換ユニット(個別タイプ/集合タイプ)の設置例 (ビル空調 オフィスの場合)



### 省工事 ドレン配管工事が不要

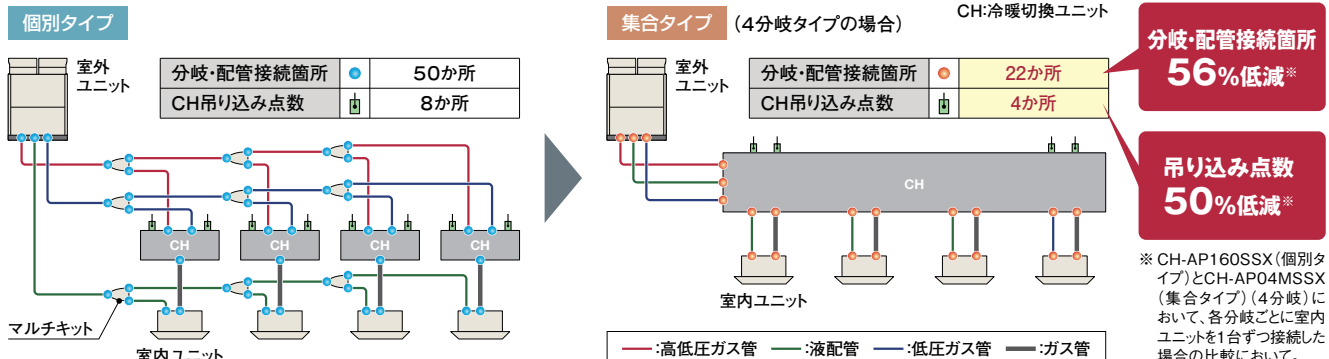
冷暖切換ユニット内のドレン配管レス構造を実現しました。これにより、ドレン配管工事やドレンパンのメンテナンス作業が不要です。

(注) 冷暖切換ユニット(個別タイプ)は従来機よりドレン配管レス構造を採用しています。

### 省施工 設置作業の低減(集合タイプ)

分岐・配管接続作業や吊り込み点数を低減しました(個別タイプとの比較)。また、液配管を内蔵しているため、液分岐作業が不要です。

#### ●室内ユニットを4台接続する場合



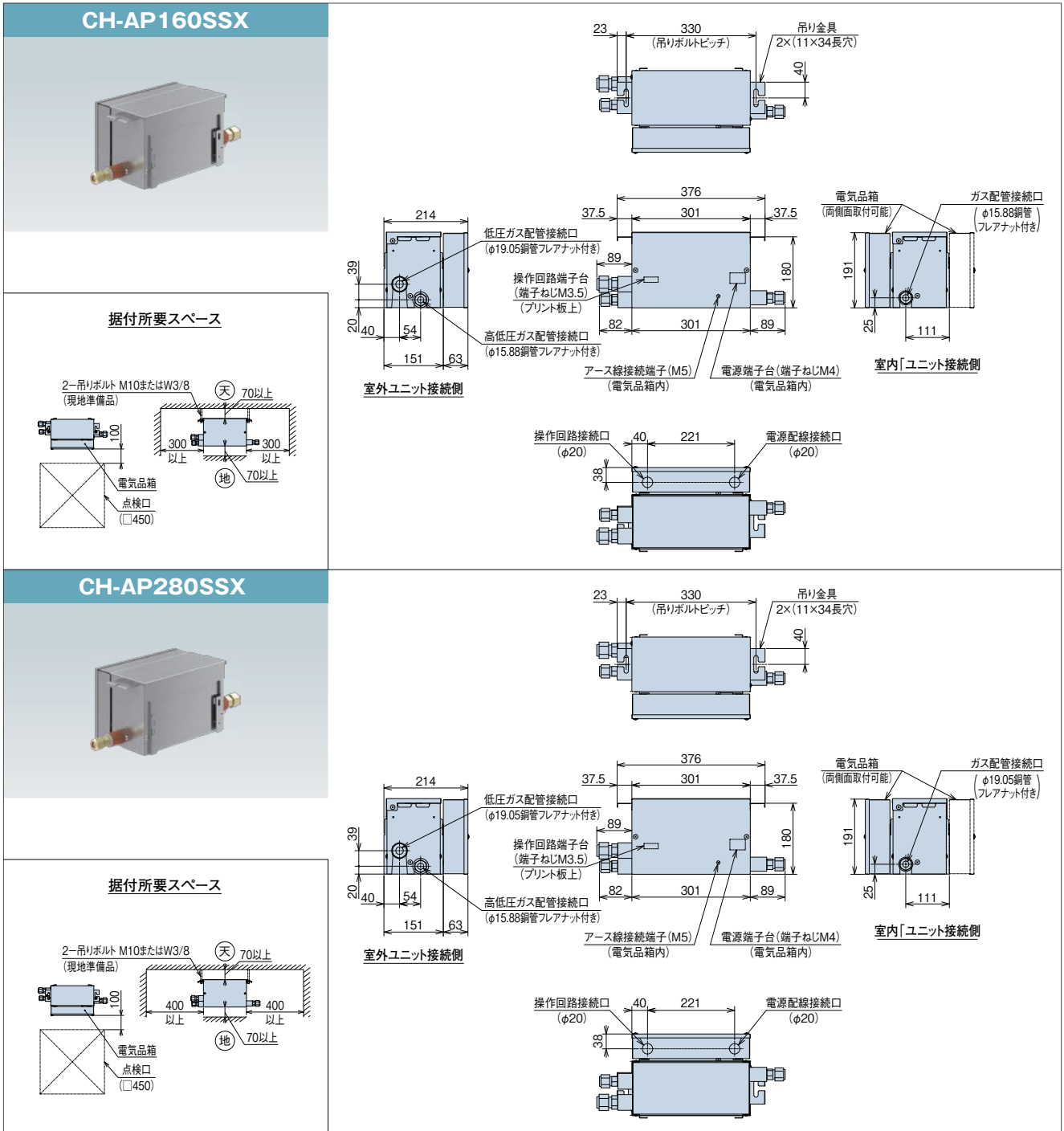
## 冷暖切替ユニット(個別タイプ)

### 仕様表

型式	CH-AP160SSX	CH-AP280SSX
電源	単相200V 50/60Hz	
消費電力(W)	5.0	
室内ユニット接続可能合計容量	160以下	161~280
室内ユニット最大接続台数	7台	8台
製品質量(kg)	6	

### 寸法図

(単位:mm)



### ●据え付け時の注意点

- 冷暖切替ユニットは、冷房、暖房の切換えのための電子膨張弁など、機械部分から構成されています。このため所定のサービス点検口を必ず設けてください。サービス点検口は必ず電気品箱側に設けてください。
- 冷暖切替ユニットからは、運転開始/停止時、サーモオン/オフ時、除霜時、運転モード切替時などの電子膨張弁作動時に動作音および冷媒の流動音などが発生しますので、設置場所は、廊下天井裏など室内に音が漏れない場所(室内ユニット天井裏施工時の同一天井内も対象)および反響の少ない場所に設置してください。このとき、天井材は石膏ボード(厚さ9mm以上)などの防音効果の高いものを使用してください。
- 冷暖房運転切替時「シュー」という冷媒流動音が発生する場合がありますので、寝室、病室などの暗騒音の低い場所への設置は避けてください。
- 液配管は、他ユニットとの誤配管防止を図ってください。

# 冷暖切替ユニット(個別・集合タイプ)

## 冷暖切替ユニット(集合タイプ)

### 仕様表

型式	CH-AP04MSSX	CH-AP08MSSX
電源	単相200V 50/60Hz	
消費電力(W)	11.2	22.4
室内ユニット接続可能合計容量	448以下*1	850以下*1
1分岐あたりの室内ユニット接続可能合計容量	160以下*2	
1分岐あたりの室内ユニット最大接続台数	6台*2	
製品質量(kg)	15	26

\*1. 224型および280型の室内ユニットを接続する場合、冷暖切替ユニット1台に対して最大2台の室内ユニットが接続可能です(なお、CH-AP04MSSXは、280型の室内ユニット1台しか接続できません)。接続の際は付属配管にてサイズアップしてください。なお、室内ユニット接続可能合計容量は左記表を守ってください。

\*2. 224型および280型室内ユニットを接続の場合、1分岐あたりの室内ユニット接続台数は1台としてください。

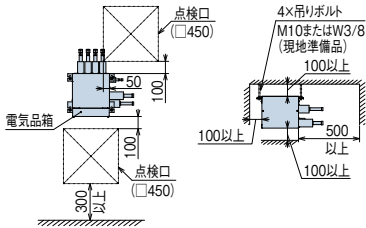
### 寸法図

(単位:mm)

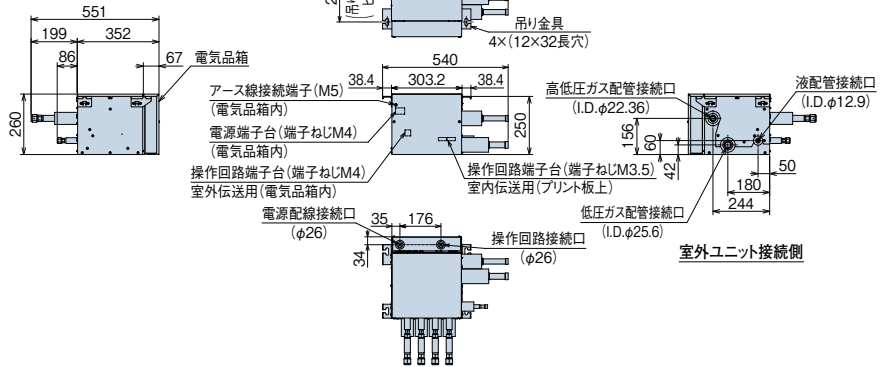
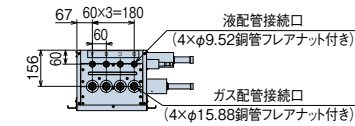
#### CH-AP04MSSX



#### 据付所要スペース



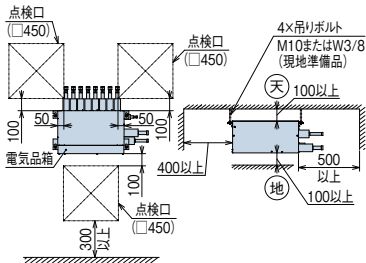
#### 室内ユニット接続側



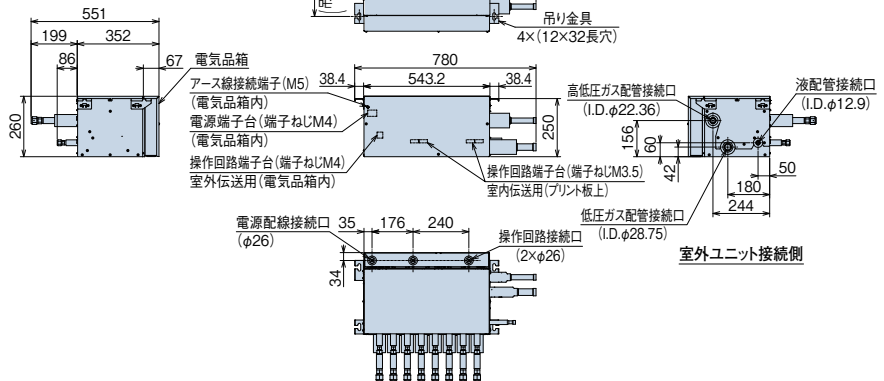
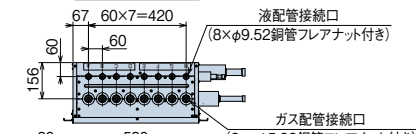
#### CH-AP08MSSX



#### 据付所要スペース



#### 室内ユニット接続側



### ●据え付け時の注意点

- 冷暖切替ユニットは、冷房、暖房の切替えのための電子膨張弁など、機械部分から構成されています。このため所定のサービス点検口を必ず設けてください。サービス点検口は必ず電気品箱側と室内ユニット配管接続側に設けてください。また、冷暖切替ユニットを降ろす場合には別途開口部が必要となります。
- 現地配管の接続スペースを十分確保してください。
- 冷暖切替ユニットからは、運転開始/停止時、サーモオン/オフ時、除霜時、運転モード切替時などの電子膨張弁作動時に動作音および冷媒の流動音などが発生しますので、設置場所は、廊下天井裏など室内に音が漏れない場所(室内ユニット天井リターン施工時の同天井内も対象)および反響の少ない場所に設置してください。このとき、天井材は石膏ボード(厚さ9mm以上)などの防音効果の高いものを使用してください。
- 冷暖房運転切替時「シュー」という冷媒流動音が発生する場合がありますので、寝室、病室などの暗騒音の低い場所への設置は避けてください。
- 他ユニットとの誤配管防止を図ってください。

## 冷暖切換ユニット(集合タイプ)

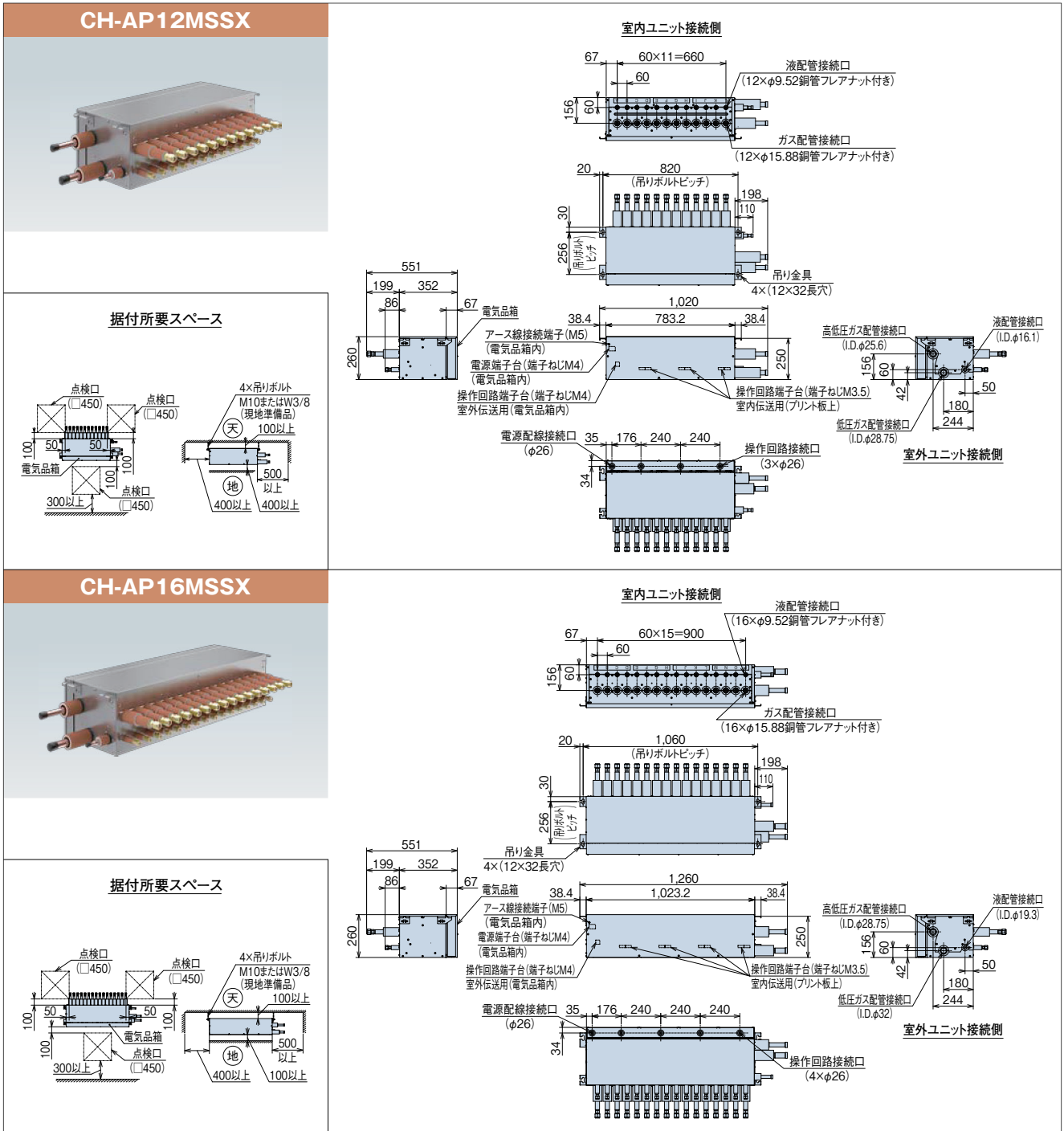
### 仕様表

型式	CH-AP12MSSX	CH-AP16MSSX
電源	単相200V 50/60Hz	
消費電力(W)	33.6	44.8
室内ユニット接続可能合計容量	850以下*1	
1分岐あたりの室内ユニット接続可能合計容量	160以下*2	
1分岐あたりの室内ユニット最大接続台数	6台*2	
製品質量(kg)	37	47

\*1. 224型および280型の室内ユニットを接続する場合、冷暖切換ユニット1台に対して最大2台の室内ユニットが接続可能です。接続の際は付属配管にてサイズアップしてください。なお、室内ユニット接続可能合計容量は左記表を守ってください。  
\*2. 224型および280型室内ユニットを接続の場合、1分岐あたりの室内ユニット接続台数は1台としてください。

### 寸法図

(単位:mm)



### ●据え付け時の注意点

- 冷暖切換ユニットは、冷房、暖房の切換えのための電子膨張弁など、機械部分から構成されています。このため所定のサービス点検口を必ず設けてください。サービス点検口は必ず電気品箱側と室内ユニット配管接続側に設けてください。また、冷暖切換ユニットを降ろす場合には別途開口部が必要となります。
- 現地配管の接続スペースを十分確保してください。
- 冷暖切換ユニットからは、運転開始/停止時、サーモオン/オフ時、除霜時、運転モード切換時などの電子膨張弁作動時に動作音および冷媒の流動音などが発生しますので、設置場所は、廊下天井裏など室内に音が漏れない場所(室内ユニット天井リターン施工時の同一天井内も対象)および反響の少ない場所に設置してください。このとき、天井材は石膏ボード(厚さ9mm以上)などの防音効果の高いものを使用してください。
- 冷暖房運転切換時「シュー」という冷媒流動音が発生する場合がありますので、寝室、病室などの暗睡音の低い場所への設置は避けてください。
- 他ユニットとの誤配管防止を図ってください。